

**製品名: アクチン (pan) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21586**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:42kD;Observed MW:42kD

**抗原情報**

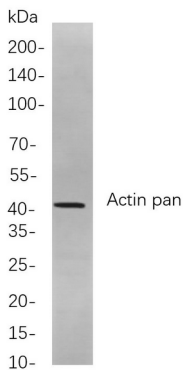
遺伝子名	ACTC1 Actin, alpha cardiac muscle 1;Alpha-cardiac actin;ACTC;Actin, alpha skeletal muscle;Alpha-actin-1;ACTA1;Actin, aortic smooth muscle;Alpha-actin-2;ACTA2;ACTSA, ACTVS;Actin,
別名	cytoplasmic 1;Beta-actin;ACTB;Actin, cytoplasmic 2;Gamma-actin;ACTG1;ACTG;Actin, gamma-enteric smooth muscle;Alpha-actin-3;Gamma-2-actin;Smooth muscle gamma-actin;ACTA3, ACTL3, ACTSG;ACTG2
遺伝子 ID	70;58;59;60;71;72;
SwissProt ID	P62736;P68032;P60709;P63261;P68133;P63267
免疫原	-

## 背景

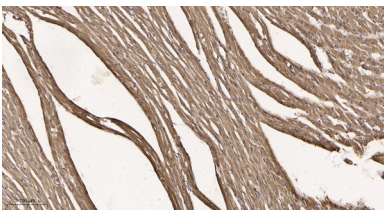
細胞局在: 細胞質、膜状。この遺伝子によってコードされるタンパク質はアクチンファミリーに属し、細胞の運動性、構造、そして完全性に関与する高度に保存されたタンパク質です。α、β、γアクチンのアイソフォームが同定されており、αアクチンは収縮装置の主要構成要素であり、βおよびγアクチンは細胞運動の調節に関与しています。このアクチンは骨格筋に見られるαアクチンです。この遺伝子の欠陥は、家族性胸部大動脈瘤6型を引き起こします。同じタンパク質をコードする複数の選択的スプライシングバリエントが同定されています。[RefSeq 提供、2008年11月]

## 研究分野

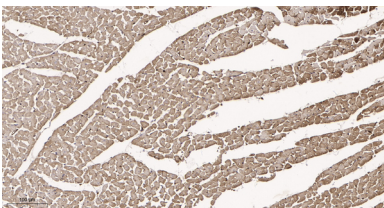
## 画像データ



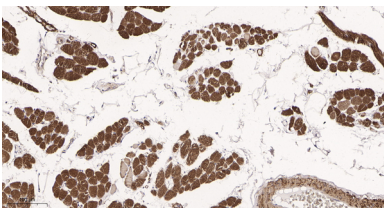
C6細胞ライセートのウェスタンブロット解析（アクチンパンウサギ mAb を使用）。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用しました。



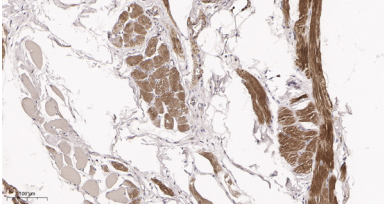
パラフィン包埋マウス心筋組織の免疫組織化学分析。1、アクチン（パン）ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈（4°C、一晚）。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた（>98°C、20分）。3、二次抗体を 1:200 に希釈（室温、30分）。



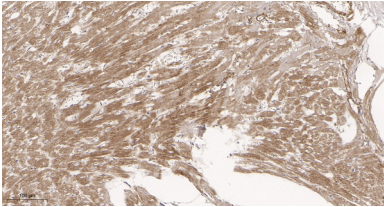
パラフィン包埋ラット心筋組織の免疫組織化学分析。1、アクチン（パン）ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈（4°C、一晚）。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた（>98°C、20分）。3、二次抗体を 1:200 に希釈（室温、30分）。



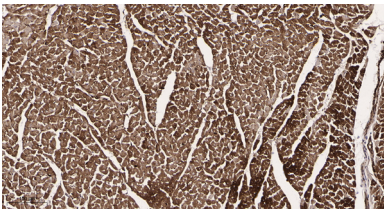
パラフィン包埋骨格筋組織の免疫組織化学分析。1、アクチン（パン）ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈（4°C、一晚）。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた（>98°C、20分）。3、二次抗体を 1:200 に希釈（室温、30分）。



パラフィン包埋ヒト骨格筋組織の免疫組織化学分析。1、アクチン（パン）ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈（4°C、一晚）。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた（>98°C、20 分）。3、二次抗体を 1:200 に希釈（室温、30 分）。



パラフィン包埋マウス心臓組織の免疫組織化学分析。1、アクチン（パン）ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈（4°C、一晚）。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた（>98°C、20 分）。3、二次抗体を 1:200 に希釈（室温、30 分）。



パラフィン包埋ラット心臓組織の免疫組織化学分析。1、アクチン（パン）ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈（4°C、一晚）。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた（>98°C、20 分）。3、二次抗体を 1:200 に希釈（室温、30 分）。